

# 平成 24 (2012) 年度 事業計画書

自 平成 24 (2012) 年 4 月 1 日  
至 平成 25 (2013) 年 3 月 31 日

公益財団法人 九州盲導犬協会

今年度は中期3カ年計画「challenge2013」2年目として、身体障害者の自立及び社会参加を促進するため、より質の高いサービスを提供する協会への変革を目指して、つぎのとおり事業を推進する。

## I. 盲導犬育成、貸与及び視覚障害者の生活訓練等を行う総合訓練センターの運営事業

### 1. 視覚障害者に対する盲導犬の貸与とそれに伴う生活訓練等の実施

#### (1) 盲導犬貸与頭数

年間10~12頭の盲導犬を視覚障害者に貸与する。

#### (2) 公正な盲導犬貸与

盲導犬貸与規程に基づく公正な盲導犬貸与を実施する。

#### (3) 盲導犬使用者（以下、ユーザー）に対するフォローアップ

ユーザーからの年次報告により、貸与中の盲導犬の健康状態のチェックを行うとともに、安全で快適な歩行及び生活が継続出来るよう、全てのユーザー宅を訪問するフォローアップを実施する。

### 2. 犬の飼育および訓練

#### (1) 候補犬の訓練

本年度は40頭の候補犬に盲導犬としての適切な訓練を実施する。

#### (2) 繁殖

本年度は繁殖犬頭数17頭によって、40~50頭の仔犬を確保する。またAGBN(Asia Guide Dogs Breeding Network)加盟協会との繁殖協力の維持と発展に努める。

#### (3) パピーウォーキング

40~50頭の仔犬をパピーウォーカー（以下、PW）に飼育委託し、定期指導・飼育講習会及び巡回指導等により、仔犬の健康管理とPWに対する飼育指導を実施する。

#### (4) リタイア犬

リタイア犬飼育ボランティアと連携を取りながら、リタイア犬のケアに配慮する。

#### (5) 犬舎管理

本年度は犬舎頭数が最大で50頭を超えることが予想される。引き続き犬舎の衛生管理および犬舎にいる候補犬の健康管理に努める。

### 3. 職員の技術向上

#### (1) 毎日の業務報告・連絡・相談等を通して課題の発見と解決を図ることにより、訓練技術の向上に資する。

#### (2) 全国盲導犬施設連合会主催のセミナーに職員を派遣し、技術及び知識の向上を図る。

#### (3) その他各種研修会に職員を派遣し自己研鑽を奨励する。

#### 4. 行政、各種団体およびボランティア関係各位との関係づくり

- (1) 各関係機関との情報交換を密におこない事業の円滑な運営に努める。
- (2) 盲導犬に対する医療特別措置について、各自治体をはじめ獣医師会および動物病院に継続して支援と協力をお願いする。
- (3) 繁殖犬・パピー・リタイア犬ボランティア並びにキャリアチェンジ犬のオーナーとの連携を図る。

### II. 盲導犬を主体とした身体障害者補助犬の普及及び啓発事業

#### 1. 普及啓発事業の推進体制

盲導犬を主体とした補助犬の普及啓発事業は、補助犬使用者及び補助犬が社会と共生するため、育成事業と一体の事業として推進する。

#### 2. 普及啓発活動

- (1) 盲導犬ユーザー、ボランティアの協力を得て地域の団体や学校等が主催する普及啓発イベント等に積極的に参加し、盲導犬を中心とした補助犬の理解と普及啓発に努める。
- (2) 盲導犬使用希望者への働きかけ  
九州各地の視覚障害リハビリテーション機関等に働きかけ、視覚障害者に対する白杖歩行・盲導犬体験歩行会及び説明会等により盲導犬希望者の掘り起こしを行う。

#### 3. 総合訓練センター見学会

- (1) 一般見学会を毎月1回行い(12月は除く)、年間延べ400名以上の来所を目標に取り組む。
- (2) 団体見学を積極的に受け入れ年間50件を目標に取り組む。

#### 4. 広報活動

- (1) 会報(ハーネス九州)の発行  
福岡県共同募金会からの配分金をもとに、協会報を年2回、各10,000部を発行する。
- (2) ホームページの運営  
ホームページを積極的に活用し協会案内や盲導犬情報を提供する。一般社会における盲導犬や視覚障害の理解、訓練状況やボランティアの紹介等内容・更新頻度の充実を図り、よりタイムリーな情報の発信に努める。

#### 5. 相談業務

相談担当職員を中心に行政・関連団体と連携を取りながら、盲導犬使用者・ボランティア・一般市民からの苦情や相談に対し迅速な対応をとる。

### III. 管理部門

#### 1. 募金箱について

既設置先との深耕とあわせて新たな設置先の開拓を行うとともに、協会事業への継続的な協力をお願いする。

#### 2. 賛助会員について

個人賛助会員・マンスリー会員・法人賛助会員の新規加入の働きかけを行うとともに、会員には、協会報等を通して、当協会事業への理解と継続的な支援をお願いする。

#### 3. ローコスト経営について

ローコスト意識を職員一人一人に徹底し、無駄な経費の削減に努める。

#### 4. 管理規程について

諸規程の見直しを行う。